

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：高等学校費 目：高等学校管理費

事業名 農業科実習費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教育財務課管理経理係 電話番号：058-272-1111(内 3558)

E-mail： c17773@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 165,380 千円 (前年度予算額：174,551 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	174,551	0	0	0	174,551	0	0	0	0
要求額	165,380	0	0	0	165,380	0	0	0	0
決定額	165,380	0	0	0	165,380	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

果樹や草花などの生産物を単年又は複数年かけて育成するなど、農業の各分野に関する体験的な学習に加えて、生産物を出荷及び販売するまでを学習対象として実施し、育成途中における気候変動や害虫への対策にも取り組んでいる。

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てることを目的としている。

(2) 事業内容

県立高等学校農業科の農業実習に要する経費

(3) 県負担・補助率の考え方

財産収入 (生産物売払収入) 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

県立高等学校農業科の農業実習に要する経費 165,380 千円

【対象高校】 岐阜農林、大垣養老、郡上、加茂農林、恵那農業、飛騨高山

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付け農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>(前々年度末時点)</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

生徒の学習として行う農業実習の経費であり、学習の成果を定量的にはかることはできないため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

農業科実習実施校：6校

（岐阜農林、大垣養老、郡上、加茂農林、恵那農業、飛騨高山）

果樹や草花などの生産物を単年又は複数年かけて育成するなど、農業の各分野に関する体験的な学習に加えて、生産物を出荷及び販売するまでを学習対象として実施した。また、育成途中における気候変動や害虫への対策にも取り組んだ。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付け農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てることができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	学習指導要領に基づく学習（農業実習）の実施に要する経費である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	適切な実習の実施により生徒の知識・技能の習得に寄与している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	電子調達により計画的なまとめ発注に心がけるなど、各学校における適切な調達の実施により、経費節減の努力を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 生産物売払収入を財源としているため、天候不順による不作などの影響で収入が減少すると経費の抑制が必要となり、必要な実習が十分に行えなくなる可能性がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地域の農業人材育成の基礎となる実習を行うために必須の経費であり、今後も円滑な農業実習を行うために必要な事業である。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	—
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	—